

小さな囲炉裏付の掘り座卓の製作について

今回の依頼は工務店様よりお施主様が用意した小さな囲炉裏を埋め込んだ掘り座卓の製作です。採寸時の状況は、掘り箱はすでに出来上がっていて、この座卓のみの製作です。

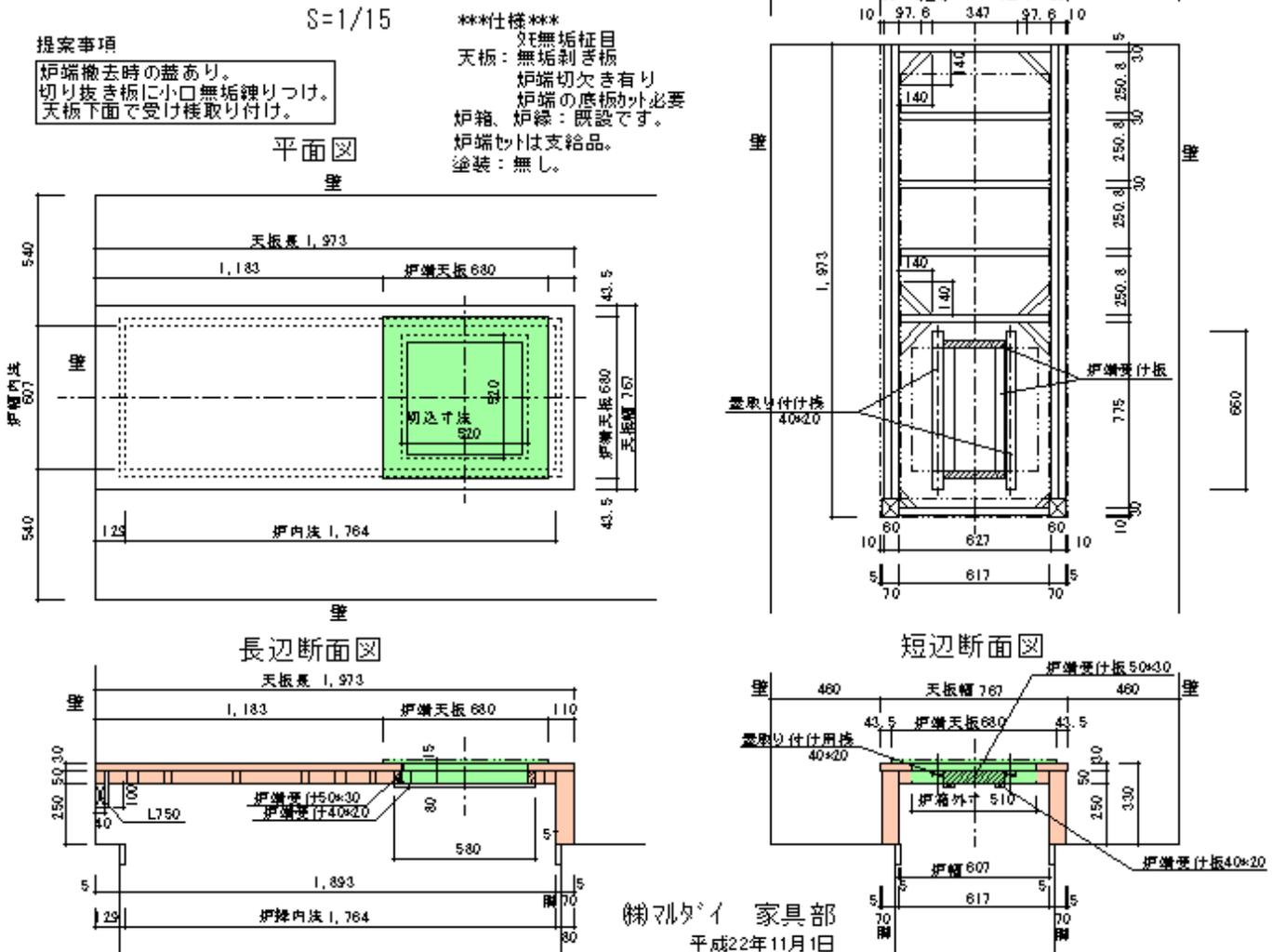
要望事項

1. 壁側は脚を付けずに壁に受け枠を固定し、そこで天板と幕板を受けます。
2. 床と幕板とのクリアランスを H250 確保して欲しい。足の出入りにゆったり感が欲しい。
この場合、長辺のみ幕板の H50 とし、厚みを 60 にして撓みを押さえる。
3. 囲炉裏の荷重の補強受け板を取り付ける。(囲炉裏の天板は四方に広がっていて落下防止になります。さらに直接炉箱受ける補強板を用意。)
4. 材質はタモ柾目の通し板です。

製作側からの提案事項

1. 囲炉裏の使用しない時、天板の切り抜き材で蓋を用意。
 2. 掘り箱内の清掃も考慮して壁の受け板はちょっとボルトを緩めて座卓を外せるものとする。
- 以上、により製作図を確定しました。

11/1 確定図 掘り座卓 (炉端切欠きあり)





掘り箱状況です。

この壁の柱位置に受け桟を固定する。

幕板の高さが小さくなった分撓みが出ないように。板厚を厚くしました。幕板 t30 を t60 までにしました。

座卓裏面の幕板、反り補強状況。



蓋受け桟



囲炉裏受け桟



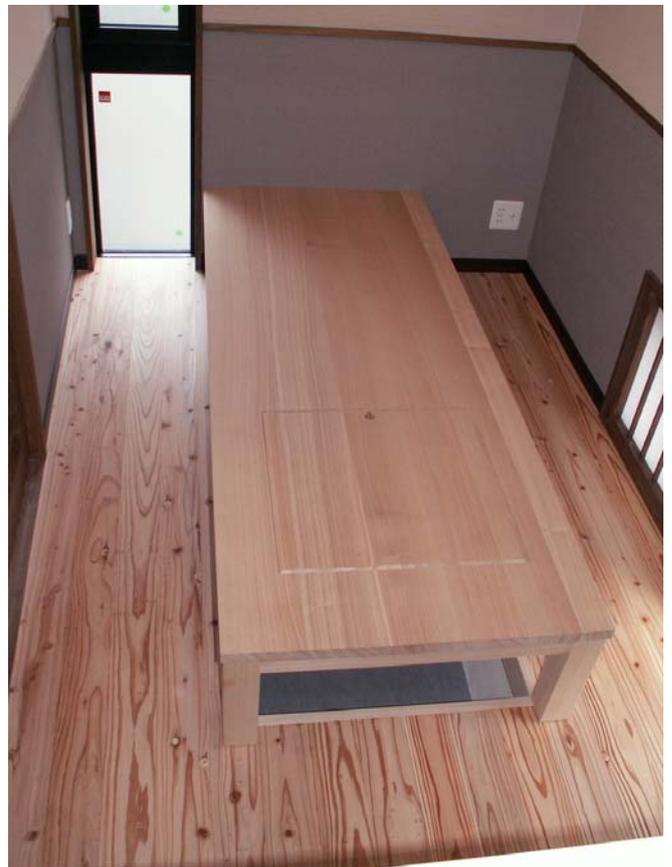
壁側固定状況。

柱位置に受け桟を固定。

左右、前後の固定材でボルトを少し緩めて上に上げれば座卓の取り外しが出来ます。



囲炉裏側のセット状況。(蓋セット時)



タモ通し板天板状況。囲炉裏切抜き材で蓋を製作、指掛り穴は NC 加工上のビット穴を利用し、刃物切り込み分のサイズ不足分は小口無垢を練り付け、工場側でうまく調整していただきました。



囲炉裏裏枠セット状況。



耐熱レンガ上に五徳をセットし、炭等
が使用できるとのことです。
お施主様、通販で購入された支給品で
す。



耐火レンガ下側に 2 枚のアルミ板が金属炉箱
底板より約 10mm ずつ隙間を設けて取り付き
ます。



セット完了です。
囲炉裏と囲炉裏撤去時の蓋と蓋受け桟です。



お施様のこだわりの和空間への演出
のお手伝いが出来ました。

(株)マルダイ 家具部

Da・Monde 鈴木

平成 22 年 11 月 15 日